

## G7 Trade Ministers: Fulfilling Commitments to Ending Forced Labour

強制労働撤廃へのコミットメント実現に向けて

2021年10月3日

### G7 貿易大臣の皆様

グローバル・サプライチェーンやデジタル経済における強制労働に取り組むために、G7が2021年にコーンウォールで発表したコミットメント実現のために提言します。まず、強制労働がG7首脳宣言においてコレクティブ・アクションとして取り組むべき重要な問題として認められたことを評価します。

強制労働は、さまざまな産業やサプライチェーンに広く存在し、世界中にその事例が見られます。世界には、強制労働や人身売買で搾取されている人が2,500万人と推定されており、この数は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大など数多くの地球規模の課題の結果としてさらに増えると考えられています。中国における国家主導の強制労働や人権侵害の著しい事例については、詳しい報告がなされています。このような犯罪によって密売人は1,500億ドルを得ていると推定されており、汚職、環境破壊、差別、不安定性、危険で無秩序な移住とも関連しています。

G7首脳宣言では、貿易大臣に対して「グローバル・サプライチェーンにおけるあらゆる形態の強制労働の使用をなくすための協力促進と協調行動を行う分野を特定する」ように指示されました。そこで、私たちはグローバル・サプライチェーンから強制労働と人身取引をなくすためにG7ができること5つを以下のように提言します。

- G7は、強制労働に取り組むために最低限の法的基準を統一し、必要に応じて新たな法的枠組みを採用すべきである。それらに含めるべきことは、強制労働によってすべてあるいは一部がつくられ、輸送されたものや商品の輸出入または国内での販売の禁止、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に則ってG7すべての国の管轄下で事業を行っている企業に対して企業活動とサプライチェーンにおける人権と環境に関するデュー・デリジェンスの義務化などです。民間企業が自社のサプライチェーンにおいて強制労働を撤廃するための積極的な取り組みを進めるためには、説明責任とパートナーシップを強化することが重要です。
- 今後G7が採用する貿易協定や貿易特惠などには、人身売買と強制労働撤廃のために、デュー・デリジェンスの基準や使用の禁止と処罰を含む最低限順守する基準を確約すべきです。また、低所得の貿易相手国に対しては、順守すべき基準を満たし、強制労働を使用していない貿易を促進するための支援を行うべきです。
- G7加盟国の中の1か国が強制労働にかかわる輸出入や国内での取り引きを禁止している場合は、すべてのG7加盟国でも禁止すべきです。強制労働禁止について相互に認め合った原則を維持していくために、情報やデータ共有のメカニズム構築と強化、およびベスト・プラクティスに基づいた共通の基準と方法を策定することにコミットすべきです。
- G7首脳のコミットメントを踏まえて、デジタル経済を含むグローバル・サプライチェーンにおける強制労働を防止するために、公共調達政策を含む国内での方策や多国間の制度の活用に向けてコミットメントを強化すべきです。また、世界人権宣言における労働

権や結社の自由など、これまでに合意された原則を留意すべきです。

- G7 は、グローバル・サプライチェーンにおける強制労働や人身売買の被害者への支援を含む強制労働と人身取引に取り組むための新たな資金を確保すべきです。また、被害者を救済するためのリハビリテーションや治療目的の支援に関するベスト・プラクティスについて、被害者参加のもとに具体的な提言をつくるべきです。強制労働によって制裁を科された企業に雇用されている人びとの解雇など、強制労働をなくすための政府や民間セクターの取り組みが意図せぬ悪影響を及ぼすことにも特別の注意を払うべきです。

「グローバル・サプライチェーンにおけるあらゆる形態の強制労働の撤廃」は、非常に重要な取り組みです。私たちの 5 つの提案が実行に移されたとすれば、大きな進展が可能だと考えます。また、グローバル・サプライチェーンにおける強制労働は重要な問題である一方で、人身取引や現代奴隷という大きな問題の一部であることを強調しておきます。貿易省、開発省、労働省などすべての政府省庁がそれぞれの所管分野において現代奴隷に取り組むために積極的な役割を果たすよう働きかけていただけるよう切にお願いします。

G7 はこれらの重要課題に大きな役割を果たすことができます。私たちは、強制労働をなくすという目標を実現するために、大臣お一人お一人と協力していきたいと考えています。そのためにも、私たちの提案や大臣会合後に発表予定のコミットメントについて話し合う会合をもっていただけるようお願いいたします。

以上

Kristen Abrams

Senior Director, Combatting Human Trafficking, the McCain Institute for International Leadership at ASU

James Kofi Annan

Founder and President, Challenging Heights

Ambassador (ret.) Luis C.deBaca

Senior Fellow in Modern Slavery, Gilder Lehrman Center for the Study of Slavery, Resistance, and Abolition, Yale University

Shawna Bader-Blau

Executive Director, Solidarity Center

Anna Canning

Campaign Manager, Fair World Project

Christine Carolan

Executive Officer, ACRATH

Catherine R. Chen

CEO, Polaris

Kristi Davidson

CEO, Offspring

Minh Dang

Executive Director, Survivor Alliance

Blaise Desbordes

CEO, Max Havelaar, France

Luke de Pulford

Director, Arise

Joanna Ewart-James

Executive Director, Freedom United

Nick Grono

CEO, The Freedom Fund

Christian Guy

CEO, Justice and Care

Peter Hugh Smith

Chief Executive, CCLA Investment Management

Yuka Iwatsuki

President and Co-Founder, Action against Child Exploitation

Fuzz Kitto

Co-Director, Be Slavery Free

Melissa Lipset

Acting CEO, Baptist World Aid Australia

Shawn MacDonald

CEO, Verité

[ACE 訳]